

# CNA Report Japan

Newsletter focused on  
Collaborative conferencing

Conferencing News & Analysis-- Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・Web 会議専門ニュースレター 特別リポート 2004 年 2 月

創刊 1999 年 12 月 8 日 発行/編集: 橋本啓介 k@cnar.jp Copyright 2004 Kay Office All rights reserved.

## 企業訪問 イタリア Aethra(アエストラ)



アエストラ日本語サイト  
<http://cnar.jp/aethra/>

2004 年 2 月 16 日から 21 日の 6 日間イタリアのテレビ会議メーカー Aethra (アエストラ) の企業訪問を行ってきた。今回の訪問は同社による招待であるため、CEO 兼創業者である Giulio Viezzoli 氏以下社員の方々へ感謝の意を表したい。



アエストラがあるアンコナ市は、イタリアの東部中央に位置したアドリア海に面した人口 10 万人ほどの市で、港町でもある。アドリア海は初めて見たが非常に美しく、ホテルの近くにはギリシャ風の建物もありギリシャとの歴史的深い関わりも伺わせる風情の感じられる町。

そのアンコナ市にアエストラを設立したのが 1972 年、それ以来イタリアテレコムとの関係は深く、設立以来ネットワーク通信機器などを開発してきた。現在は、ISDN や xDSL の関

連の製品、テレビ会議システム、音声会議システム、音声・ビデオ・データサービス向けのマネージメントソリューションと幅広く製品を扱っており、世界 60 カ国以上で販売している。また、Aethra.Net と呼ばれる関連会社では、テレビ会議、ウェブ会議、電話会議サービスも行っている。

工場は自社では持っておらず、外部の企業に委託して 7 ヶ所の工場(イタリア国内 6 ヶ所、中国 1 ヶ所)でアエストラの製品が製造されている。

テレビ会議システムにおいては、過去 10 年で今までに 10 万台の設置実績があり、世界では第四番目の大手テレビ会議メーカーとして評価(米 Wainhouse Research 統計による)されている。また地元イタリアでは、市場シェアの 8 割をアエストラのテレビ会議システムで占めている。また、ポータブルテレビ会議システム Voyager は、アフガニスタンやイラク戦争など



の現場リポートなどにジャーナリストから活用されたようだ。

また、xDSL モデムについて、同社のテレコムマーケティングディレクターの Vincenzo Gulla 氏によると EMEA 地区ではシェア的に 8 割 - 9 割以上の台数を出荷しているようだ。

設立以来 R&D 重視の姿勢は同じで、それも同社創業者である Giulio Viezzoli 氏自身がエンジニアであるということから技術指向が強い現れで、売上げに対する 16% を R&D に投資しているという。

今回の訪問では、CEO Giulio Viezzoli 氏の子息である、Marco Viezzoli 氏からまず社内を案内してもらい、各部署の説明と、テレビ会議システムの試験室などを拝見し、R&D や品質管理の重要性を説明していただいた。同社では、ISO 9001 を取得しており、今後環境関係の ISO14001 も取得する準備を行っているという。その後、アエストラの会社概要説明を、Marco Viezzoli 氏から受けた。

その後、テレビ会議システムのプロダクトラインとマーケティング活動状況、アジア太平洋地区のマーケティング活動

状況、DSL モデムなどのネットワーク製品関係の事業状況、



**Vega Star Silver-E スケーラブルソリューション**



### Vega Star Silver-E Split

そして、テレビ会議技術のトレンドとアエスラのロードマップについて、Aethra.Net の説明などのプレゼンテーションを各事業部の責任者等から受けた。

アエスラとしては、3月下旬のドイツでの CeBit で「Vega Star Silver-E」を発表する予定で、現在あるセットトップタイプのテレビ会議システム「Vega Star Silver」シリーズを統合し、2Mbps IP Only をベースモデルとして、オプションとして、XGA I/O、Dual Video H.239、ISDN インターフェイス(6チャンネル、3回線)、内蔵 MCU (IP/ISDN 混在会議)、などを必要に応じて加えていくというビルドアップタイプ。また、Split タイプ、つまりカメラ部とコーデック部が着脱できるタイプも合わせて提供する。

さらに、AES にも対応し、他社端末とも暗号化された中での通信が可能。Silver タイプは、6000EURO (約 82 万円) から 12,000EURO (160 万円) のミッドレンジの価格帯に位置す

るのが Silver シリーズの製品。

ちなみに同社の上位機種になると、IP は 3Mbps まで対応し、内蔵 MCU で 7ヶ所までの IP/ISDN 混在会議が行える。また、内蔵のストリーミング機能により、テレビ会議の状況をリアルタイムにインターネットにストリーミング配信が行える機種もある。外部インターフェイス、たとえば CRESTRON や AMX などにも対応している。

最上位機種は、40 インチ、50 インチのプラズマディスプレイにも対応している「Super Nova Star」などもあり、テレビ電話から衛星用テレビ会議、セットトップ、ロールアバウト・ルームタイプと幅広くテレビ会議製品を提供している。

また、コーデックタイプの製品についても刷新し新しい製品を Cebit に合わせリリースする予定だ。



いままでは、「Codec AVC8200」と「Codec AVC 8400」があったが、これらを「Codec 8400 Entry」と「Codec 8400

Super Set」としてリリースする。システムインテグレーション向けで、タイプによって、IP は 3Mbps まで ISDN は、2Mbps まで対応する (オプションになる場合もある) また、MCU 内蔵で IP/ISDN 混在で 5ヶ所から 7ヶ所までの多地点会議が行える。その他、XGA、ウェブストリーミング機能、ワイヤレス LAN などにもサポートしている。API を提供しており、AMX や CRESTRON のインターフェイスにも対応する。

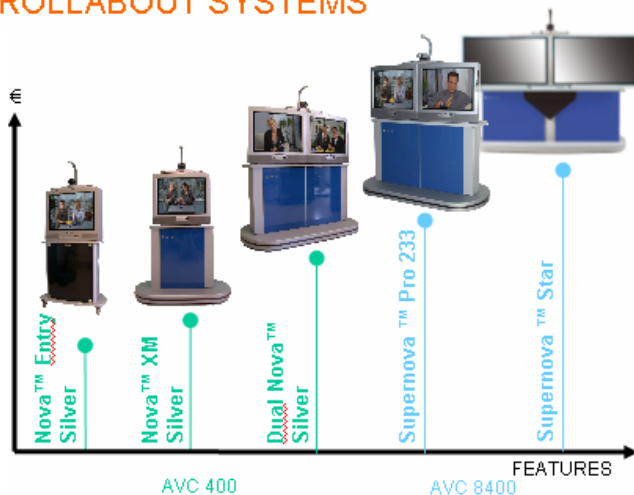
技術トレンドなど今後のアエスラの技術ロードマップの説明をしていただいた、テレビ会議 R&D マネージャーの Claudio Pnini 氏によると、現在のトレンドとしての LDAP や H.239 などのさまざまな技術トレンドについてはアエスラとしても十分フォローしていき、製品に取り入れていくスタンスのようだ。

また、現在同社のテレビ会議システムは、フィリップ社製の Trimedia チップを搭載しているが、来年1月以降の出荷から Equator 製のチップに移行する考えだそう。

## 2004 PRODUCT LINE MEDIUM-END



## ROLLABOUT SYSTEMS



新たに昨年 ITU-T で勧告された新しいテレビ会議映像符号化方式 H.264 については、現行の Tri-media チップで対応させるが馬力が足りないというのが理由のひとつだ。

H.323 対 SIP 論争について聞いたところ、H.323 対 SIP は宗教戦争みたいなもので、最終的には政治力が物を言うと同氏は言う。SIP は、最終的にはテレビ会議において H.323 に対して優位性を持つ可能性は高いのではないかとの見方を示した。

アエスラは、世界 60 カ国で事業展開をしつつ、また中国では現地法人と工場を設立しているが日本は今まで真空地帯であったようだ。同社では日本のプライオリティは高く、今後販売代理店などパートナーシップや、アエスラ製品の OEM 供給ビジネスも視野に入れてさまざまな可能性を模索していきながら日本での事業機会の発掘を行っていく。

(終わり)



アジアビジネスには写真上記の方々が担当

### 【アエスラ連絡先】

Francesca Galeazzi  
 Communications & Corporate Relations, Manager  
 AETHRA SpA  
 Via Matteo Ricci, 10  
 60020 Ancona (Italy)  
 Telephone: +39 071 2189742  
 Fax: +39 071 887077  
 E-mail: [francesca.galeazzi@aethra.com](mailto:francesca.galeazzi@aethra.com)  
 WWW: <http://www.aethra.com>

CNA Report Japan(シーエヌエー・レポート)  
 編集長 橋本 啓介 [k@cna.jp](mailto:k@cna.jp)

(CNA Report 特別レポート 2004年2月)